

令和7年度 第3回御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会 会議録
(市民協働研修会)

1 日 時 令和7年8月1日(金) 13:30～15:30

2 講 師 プロセスコンサルタント
静岡県地域づくりアドバイザー 守本 尚子 氏

3 会 場 御殿場市役所 東館2階 201～203会議室

4 参 加 者 36名

[市民協働型まちづくり推進協議会委員] ※敬称略

勝又 啓、高橋 美佳、勝又 長生、浜田 宏美、川村 美穂、立道 佳之、高瀬 宏樹
刈山 祐江、芹澤 直己 計 9名

[市内市民協働推進員(2024、2025 任命)]

計 22名

[令和7年度御殿場市市民協働型まちづくり事業補助金活用団体・市担当課]

計 2名

[事務局(市民協働課)]

高村課長、福島統括、梶副主任

5 研修内容 [内容]

静岡県地域づくりアドバイザーでありプロセスコンサルタントの守本尚子さんを講師に迎え、市民協働研修会を実施しました。この研修会は、御殿場市における協働の意義やその背景について市民と行政双方が立場を超え、様々な視点から体感・共有することで理解を深め、協働の推進に繋げることを目的として行われました。研修の形式は、これまでの講義中心のものからグループワークを主体とした内容となり、特に参加者が協働を体感的に学べる工夫が施されていました。

まず、研修は「旗上げアンケート」による参加者同士の協働経験やイメージの認識から始まりました。この段階では、参加者自身が協働についての意識を整理し、自分ごととして捉える準備を整え、研修に参加できるよう配慮されていました。次に、研修のメインとなったグループワーク「パズル謎解き」が実施されました。このワークでは、自分のグループだけでは解決できない内容のパズルに挑む形式で、他のグループに助けを求めたり、協力を得たりしながら、課題を解いていくプロセスを体験しました。各グループが互いに情報を共有し、連携する必要があるこの活動を通じて、参加者は協働の意義を理解し、体感することができました。さらに、御殿場市が定める「御殿場市市民協働型まちづくり推進指針」に基づいた協働の原則も取り入れられており、学ぶことができました。

研修会の後半では、グループワークで得た経験を自分自身の業務や活動にどう活かすかを考える時間が設けられました。また、「これから御殿場市の協働がもっと進んでいくために、私が今日から心がけたいこと」や「協働が進んだら、どんな御

殿場市になっていくでしょうか。」をグループ内で考えた後、グループを超えて意見を共有しました。

これまで御殿場市で実施されていた市民協働研修会は、主に講座形式で行われていましたが、今回はグループワークを主体とした内容に変更しました。この研修会を通じて得られた具体的な効果として、参加者が協働について「自分ごと」として捉え、実際に体感することができ、今後の業務や自身の活動に役立てるためのきっかけに繋がりました。さらに、今回の研修会は市職員と市民で合同で行い、研修後には「市民の方と交流出来てよかったです。」、「市民の方と同じ研修を受け、一緒にグループワークを実施することができ、新たな刺激がありました。」など好意的な感想が寄せられました。これらの感想からも、市民と行政が協力・連携して公共的な課題の解決に取り組む「市民協働型まちづくり」の推進にも繋げることが出来たと感じています。

【当日の様子】

